

難波駅にホームドアを試験設置します ～難波駅1番線に「大開口ホーム柵」を設置します～

南海電鉄（社長：遠北光彦）では、プラットホームの安全性向上のため、難波駅の一部ホーム（1番線）において「大開口ホーム柵」を試験的に設置いたします。本試験設置により、実用上の課題を検証し、今後の整備を図ってまいりたいと考えています。

1. 設置箇所（予定）
難波駅 1番線乗車ホーム（高野線）の一部（2両分設置）
（大阪市中央区難波五丁目1番60号）
2. ホームドアの形式
大開口ホーム柵
3. スケジュール
平成29年度 設計
平成30年度 製作、設置

【大開口ホーム柵について】

通常の横開きタイプのドア部を二重引き戸構造とし、開口幅を大きくとることが可能。戸袋高さは1.4m程度。

（イメージ図）



【参 考】プラットホーム内方線の整備状況

乗降人数	対象駅	未整備駅	整備状況
10万人以上	1駅	無し	整備完了済み
1万人以上10万人未満	25駅	無し	整備完了済み
3千人以上 1万人未満	36駅	11駅	平成32年度末までに整備予定
3千人未満	37駅	37駅	各駅の状況に応じ今後も整備を検討

※対象駅の総数は、空港線2駅を含み、鋼索線1駅を除く99駅